

住宅用火災警報器のリユース事業を開始

～ 高齢者を住宅火災から守るために！ ～

住宅用火災警報器（以下「住警器」）の普及に伴い、住宅火災は減少し死者も10年間で23%減少していますが、高齢者の占める割合は増加しています。

そこで、住宅火災から高齢者を守るため、住警器をリユースした設置促進事業を開始します。



安心ですね！
おじいさん

住宅火災に対する高齢者の安全・安心



解体する市営住宅の住警器

提供



消防職員の訪問&取付

連携

地域包括
支援センター

ポイント1

解体する市営住宅の住警器をリユース

- ・令和元年11月に解体する市営西口住宅（F棟西）の住警器90個を再利用します。

ポイント2

対象者

- ・一人暮らしの高齢者、若しくは高齢者のみの構成世帯、避難に時間がかかる
と予想される方などを対象とします。

ポイント3

福祉部局等と連携

- ・高齢者宅を定期的に訪問する地域包括支援センターの協力を得て、住警器の設置状況やニーズ調査を行います。
- ・住警器の取り付けは、消防職員が訪問して行います。